

第1学年〇組 音楽科学習指導案

1. 題材 箏の魅力

2. 教材曲 「六段の調」「さくらさくら」

3. 題材の目標 箏の基本的な奏法に関心を持ち、その音色や響きを味わいながら、奏法を工夫し、楽しく演奏することができる。

4. 題材について

本題材では、箏の演奏を聴いたり、実際に演奏したりすることを通して、我が国の音楽文化について関心を持たせることをねらいとしている。

そこで、拍節や音程、速度の変化、音階などに特徴があり、箏独特の奏法や音色、響きを感じ取らせやすい「六段の調」を鑑賞曲として取り上げる。

また、器楽では生徒もよく知っている「さくらさくら」を演奏させる。このような親しみやすい楽曲を取り上げることは、日本の伝統音楽を、自分たちの身近な音楽として生徒が感じる上で価値がある。

5. 教材について

鑑賞曲として「六段の調」を聴き、箏の音色や響き、奏法に関心をもたせる。また、実際に箏に触れる段階では、生徒が容易に取り組める「さくらさくら」を取り上げる。この「さくらさくら」に特徴的な奏法を加えながら、自分たちのオリジナルの演奏をしていくことで、楽器の音色や響きの美しさ、奏法のよさやおもしろさなどを感じることができると考える。

6. 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
歌唱				/
器楽	○	○	○	/
創作				/
鑑賞	○		/	○
題材の 評価規準	楽器の基礎的な奏法や楽器の美しい音色、声部の役割と全体の響きに関心を持ち、器楽や合奏の表現をすることに意欲的である。	箏の美しい音色、響きを聴き取り、奏法のよさやおもしろさを感じ取りながら、特徴的な奏法を取り入れた「さくらさくら」の表現を工夫している。	箏の基本的な扱い方や基礎的な奏法、美しい音色に気を付けて演奏している。	箏の美しい音色、響き、豊かな表現を感じながら、日本の音楽のよさを味わって聴いている。
学習活動における 具体的評価規準	①箏の音色、響きに関心をもって意欲的に聴いている。 【鑑賞】 ②いろいろな奏法に関心をもって意欲的に演奏しようとしている。 【器楽】	①箏の奏法のよさやおもしろさを見つけ、言葉で表現している。 【器楽】 ②箏の奏法のよさやおもしろさを感じ取りながら、表現を工夫している。 【器楽】	①箏の基本的な扱い方や基礎的な奏法を理解し、一音ずつ確かめながら丁寧に弾いている。 【器楽】 ②奏法に気を付け、音色や響きを生かして演奏している。 【器楽】	①いろいろな奏法による音程の変化や平調子の響き、速度の変化などの特徴を感じ取って聴いている。 【鑑賞】 ②箏の美しい音色、響き、豊かな表現を感じ取りながら、日本の音楽のよさを味わって聴いている。 【鑑賞】

7. 題材の指導計画

次	教材	時	主な学習活動及び内容	目標の意識化	形成的評価
1	六段の調 (鑑賞曲)	1	<p style="text-align: center;">「箏の魅力」</p> <p>「六段の調」を鑑賞する。 ○箏の音色や響きを味わう。 ○箏のいろいろな奏法を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どんな感じの音色，響きかを「○○な感じ」という表記で記入するよう伝える。 難しい奏法と易しい奏法を分けて提示する。 一つは必ず奏法を取り入れて演奏を工夫するように伝える。 意欲のある生徒には，難しい奏法にも挑戦させたり，何種類かの奏法を取り入れるように伝える。 	<p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆奏法をいくつか取り入れて演奏したか。 ◆自分の選んだ奏法のよさやおもしろさを，グループの相手の人に伝えることができましたか。 <p>【教師の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆奏法のよさやおもしろさを言葉で表現できているか。(学習プリント) ◆奏法を工夫して演奏しているか。(学習プリント，観察) <p>〈A・Bと判断する生徒に対して〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や響きに着目して演奏する。 ・曲の構成を生かして工夫を取り入れる。 ・曲にあうように速度や強弱を変化する。 ・より難易度が高い奏法に挑戦する。 <p>〈Cと判断する生徒に対して〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・易しい奏法の中から，その生徒ができそうなものを例示する。 ・ゆっくりした速度で，区切りながら，個別に指導する。 ・休み時間に箏にふれる。
2	さくらさくら (器楽曲)	2	<p>「さくらさくら」を演奏する。 ○基礎的な奏法を身につける。 ・正しい姿勢 ・力強い音</p>		
3	さくらさくら (器楽曲)	3	<p>いろいろな奏法に挑戦する。 ○難しい奏法…トレモロ，合わせ爪，スクイ爪，ひき色 ○易しい奏法…後押し，ゆり色，つき色，散らし爪，ピッチカート</p>		
		4 (本時)	<p>「さくらさくら」の奏法を工夫する。 ○グループごとに奏法を選択する。 ・お互いに意見を出し合いながら練習を進める。</p> <p style="text-align: center;">中 間 発 表</p> <p>自分の演奏を見直し，工夫を重ねる。</p>		
	六段の調 (鑑賞曲)	5	<p>・「さくらさくら」の演奏を発表する。 ・「六段の調」を鑑賞する。</p>		

8. 本時の評価規準

	具体的評価規準	A	B
音楽表現の創意工夫 イ①	箏の奏法のよさやおもしろさを感じ取りながら，箏の奏法を取り入れ，「さくらさくら」の表現を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな箏の奏法を用いて，さくらさくらの演奏を，曲の構成を生かし工夫している。 ・箏の音色や響きに着目して，取り入れた奏法のよさをメタファを使って友達に伝えている。 ・リタルダンドや散らし爪を使って終止感を出す表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の特徴的な演奏方法がわかる。 ・箏の特徴的な演奏のおもしろさがわかる。 ・奏法のよさやおもしろさを言葉で伝える。 ・奏法を取り入れて演奏している。 ・「七七八」に呼応して工夫を取り入れる。 ・終止感が感じ取れる。

9. 本時指導の流れと検証授業における生徒の反応

【本時における目標の意識化を図る手立て】

- 一つは必ず奏法を取り入れて演奏を工夫するように伝える。
- 難しい奏法と易しい奏法を提示し、意欲のある生徒には難しい奏法にも挑戦させる。

【形成的評価を用いた教師・生徒の評価と方法】

- 奏法のおもしろさを言葉で表現できているか。(学習プリント)
- 奏法を工夫して演奏しているか。(学習プリント, 観察)

主な学習活動と内容	支援と評価	分析生徒の様子														
<p>1 前時の復習をする。 ・「さくらさくら」の練習。</p> <p>2 前時にやってみた奏法について思いだし、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 楽器の扱い方、座り方が正しいか確認するよう指示する。</p> <p>○ 爪のあて方に注意させ、良い音色を意識しながら練習するように伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【目標を意識化させるための手立て】</p> <p>○一つは必ず奏法を取り入れて演奏を工夫するように伝える。</p> <p>○難しい奏法と易しい奏法を提示し、意欲のある生徒は難しい奏法にも挑戦させる。</p> </div>	<p>生徒ア…目標を意識化させることで、活動のねらいが明確になり意欲的に工夫しようとする姿が見られた。やってみたい奏法として、4つの奏法に挙手した。</p> <p>生徒イ…目標を意識化させることで、活動のねらいが明確になり、意欲的に工夫しようとする姿が見られた。やってみたい奏法として、3つの奏法に挙手した。</p> <p>生徒ウ…目標を意識化させることで、活動のねらいが明確になった。</p>														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>奏法を工夫し、オリジナルの『さくらさくら』を演奏しよう。</p> </div> <p>3 グループの人と相談し、自分たちがやってみようと思う奏法を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○難しい奏法 トレモロ、合わせ爪、スクイ爪、ひき色 ○易しい奏法 後押し、ゆり色、つき色、散らし爪、ピッチカート <p>4 「七七八」の部分の奏法を工夫する。 ・グループの人と相談しながら練習する。 ○どの奏法をどのような順序にしたらよいか。 ○曲の流れにあっているのか。</p> <p>5 自己評価を記入し、次時の活動を知る。</p>	<p>○ 前時に選んだ自分のやってみようと思った奏法がどれなのか、挙手で確認する。</p> <p>○ 自分が選んだ奏法のおもしろさを相手に言葉で伝えるよう指示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆箏の奏法のおもしろさを感じ取りながら、表現を工夫している。【器楽イ①】(個々の練習観察)(ワークシート)</p> </div> <p>○ 正しい姿勢をつねに意識させ、一音一音を確かめながら弾くように伝える。</p> <p>○ 途中で奏法を変更しても良いことを伝える。</p> <p>○ 巡視しながら、個々に指導・助言していく。つまづいている生徒に対しては、簡単な奏法を提案する。</p> <p>○ 本時の学習を振り返り、自己評価させる。</p> <p>○ 次時は、グループごとに練習したオリジナルの「さくらさくら」をみんなの前で発表することを伝える。</p>	<p>【学習活動の様子】</p> <p>生徒ア…いろいろな奏法を積極的に取り入れて演奏しようとする姿が見られた。また、実際に演奏しながら、曲の構成も考えて奏法を選択していた。</p> <p>「1回目と3回目、2回目と4回目を同じ奏法にして統一感を出そう。」</p> <p>「ゆり色は、流れる感じがしてきれいだし桜が舞っているようだから、最後に入れよう。」</p> <p>生徒イ…いろいろな奏法を積極的に取り入れて演奏しようとする姿が見られた。練習をしながら、どの順番にしようかをグループの人とよく話し合いながら決めていた。グループの相手が弾いているときには、箏に耳を近づけ、音色の変化を確かめながら弾いていた。</p> <p>「最後に散らし爪を持ってくるときれいだね。」</p> <p>生徒ウ…奏法のおもしろさを感じてはいるが、さくらさくらの演奏で精いっぱいだった。</p> <p>【自己評価】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">音楽表現の 創意工夫</th> </tr> <tr> <th>生徒</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒ア</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>生徒イ</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>生徒ウ</td> <td>B</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>		音楽表現の 創意工夫		生徒	教師	生徒ア	A	A	生徒イ	B	B	生徒ウ	B	B
	音楽表現の 創意工夫															
	生徒	教師														
生徒ア	A	A														
生徒イ	B	B														
生徒ウ	B	B														